ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド（予想分配金提示型）
〈愛称：ロイヤル・マイル〉

ROYAL MILE

追加型投信／内外／株式

NISA対象

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンドは、NISAの成長投資枠の対象です。
※販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

販売用資料 2025.04

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

SMBC
三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会／日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
　　一般社団法人日本投資顧問業協会

10年先を見据えた長期投資を、100年以上にわたり続けてきました

ー伝統ある「長期投資へのアプローチ」をスコットランド・エディンバラからお届けしますー

企業の長期的な成長を捉えることに主眼を置く長期投資家が数多く存在しますが、
その中の運用会社のひとつである「ベイリー・ギフォード社」を皆さまはご存じでしょうか。
1908年、同社はスコットランド・エディンバラで創業して以来、100年以上にわたり「長期投資の哲学」に基づき、
グローバル株式投資において運用実績を積み上げるとともに、各国の年金基金などの機関投資家から資産運用を任されてきました。
ー「長期の視点で高い成長が期待される銘柄を辛抱強く保有する」ー
そのような信念を持ち続けてきた同社の運用戦略を活用する投資信託を皆さまにお届けいたします。

三菱ＵＦＪアセットマネジメント

当ファンドが活用するロングターム・グローバル・グロース戦略（LTGG戦略）とは

Long Term ＝ 長期的な視野

■短期的な株価や業績の変動にとらわれることなく、より多くの投資機会を発掘します。

Global ＝ 世界の株式が投資対象

■新興国を含む世界の株式から、企業の魅力度に応じて投資配分を決定します。

Growth ＝ 成長性に期待

■5年、10年の長期で、継続可能な成長力を持つ企業に投資を行うことにより、時間の経過と共に大きなリターンの獲得をめざします。

・上記は、現時点のものであり、将来変更される可能性があります。

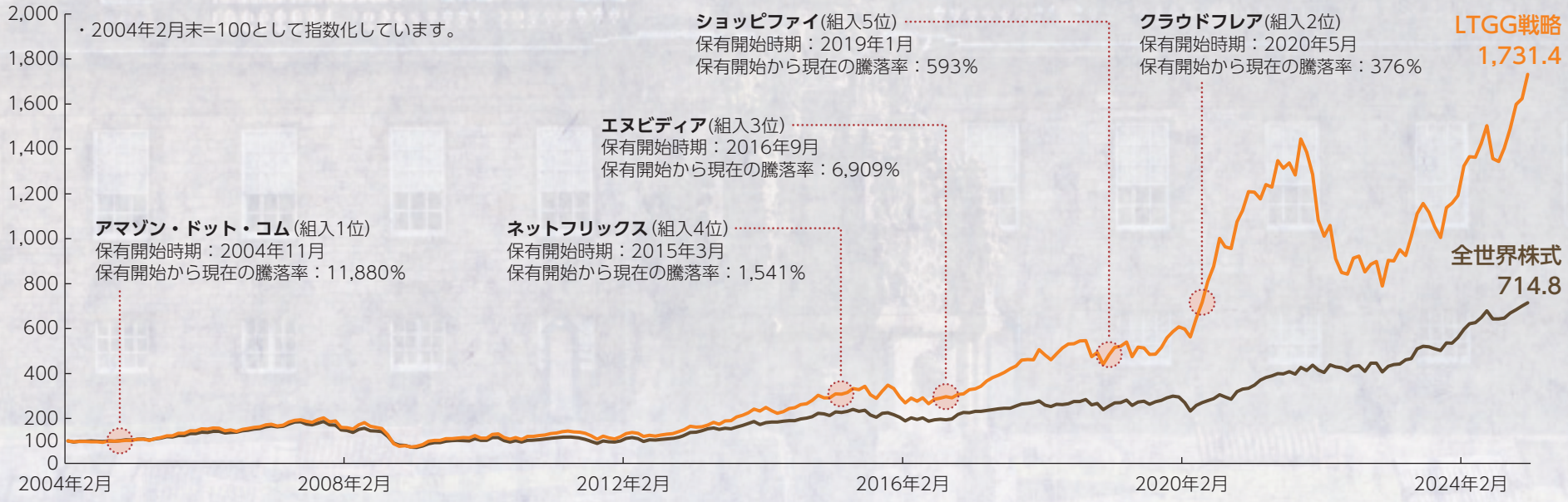
・P1以降では、ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンドを「ロイヤル・マイル」、ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド（予想分配金提示型）を「ロイヤル・マイル（予想分配金提示型）」といいます。また、これらを総称して「当ファンド」、各々を「各ファンド」といいます。 ・当ファンドの投資対象ファンドの運用は、ベイリー・ギフォード＆カンパニー（ベイリー・ギフォード社と呼ぶことがあります。）の100％子会社であるベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドが行います。

(ご参考)LTGG戦略のパフォーマンス

当ファンドについてご理解をより深めて頂くために、下記には参考としてLTGG戦略のコンポジット*のデータを用いて、LTGG戦略の過去の運用実績をご紹介しています。保有開始時期は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。保有期間の騰落率は、保有開始時の月末から2025年1月末までの騰落率(現地通貨ベース)を表示しています。LTGG戦略のコンポジットおよびLTGG戦略の代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。下記の各銘柄は、2025年1月末時点における当ファンドの投資対象ファンドの保有上位5銘柄をご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドにおいて下記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

＊コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。当該コンポジットには代表ファンドも含まれます。

(期間:2004年2月末(運用開始時)～2025年1月末)



(出所)Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成

・上記では、代表的な指数の中で、LTGG戦略の投資対象の性質を表すのに、運用チームが相応と考える全世界株式と比較しています。全世界株式は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス(税引き後配当込み米ドルベース)をもとに委託会社が円換算したものです。全世界株式は当ファンドのベンチマークではありません。 ・LTGG戦略のコンポジットは、運用報酬控除後、円ベース、配当および分配金再投資のパフォーマンスを表しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

ベイリー・ギフォード&カンパニーとは

ベイリー・ギフォード社の特徴

古くから受け継ぐ**長期投資**の姿勢

1908年に英国エディンバラにて創業した同社の最大顧客層は長期志向の世界大手年金基金ですが、さらに歴史をさかのぼると家族代々資産を残す英国富裕層からの資産運用を多く任されており、そこで培った長期投資の運用スタイルが現在にも受け継がれています。

成長企業投資に強み

同社は独自のリサーチ手法を駆使し、向こう10年超にわたって継続可能な成長力があると予測する企業に投資を行うことで、高いリターンの獲得をめざしています。

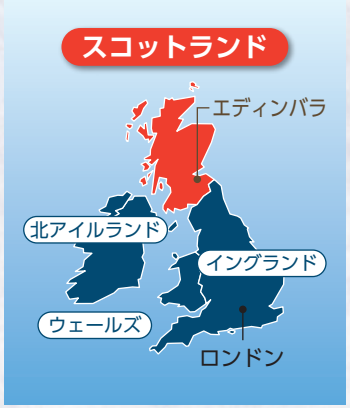
ご参考 **パートナーシップ制**による経営

パートナーシップ制とは、英米法において2人以上の者(パートナー・自社社員)が資本や役務等を分担し、共同で事業を運営する会社形態をさします。そのため、外部株主からの短期的な利益の追求圧力を受けることがなく、腰を据えて長期にわたる運用を実践することができます。

「スコットランド・エディンバラ」と「ロイヤル・マイル」のご紹介

～スコットランド・エディンバラ～

- スコットランドは英国を構成する4つの地域のひとつです。
- 人口は約549万人(2023年6月末時点)、面積は約7.8万㎢であり、人口・面積ともに北海道と同じ規模です。スコッチウィスキーやタータンチェックなどがよく知られています。
- エディンバラはスコットランドの首都であり、エディンバラ城をはじめとする中世からの歴史的建造物が立ち並ぶ一方で、ヨーロッパ有数の金融センターのひとつとしても知られています。また、投資信託のルーツとなった金融商品が誕生した地のひとつとも言われています。



～ロイヤル・マイル～

- ROYAL MILE(ロイヤル・マイル)とは、エディンバラ旧市街(世界遺産)にあるホリールードハウス宮殿とエディンバラ城を結ぶ、1マイル(約1.6km)の石畳の1本道の名称です。
- 当ファンドの愛称、「ロイヤル・マイル」は100年以上の年月を歩んできたベイリー・ギフォード社の運用を、長い歴史のあるロイヤル・マイルの1本道になぞらえています。
- 当ファンドが、「ベイリー・ギフォード社と日本の個人投資家」をつなぐ1本の“道”になることを願っています。

(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料、スコットランド統計局、各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ベイリー・ギフォード社の「成長企業への長期投資」

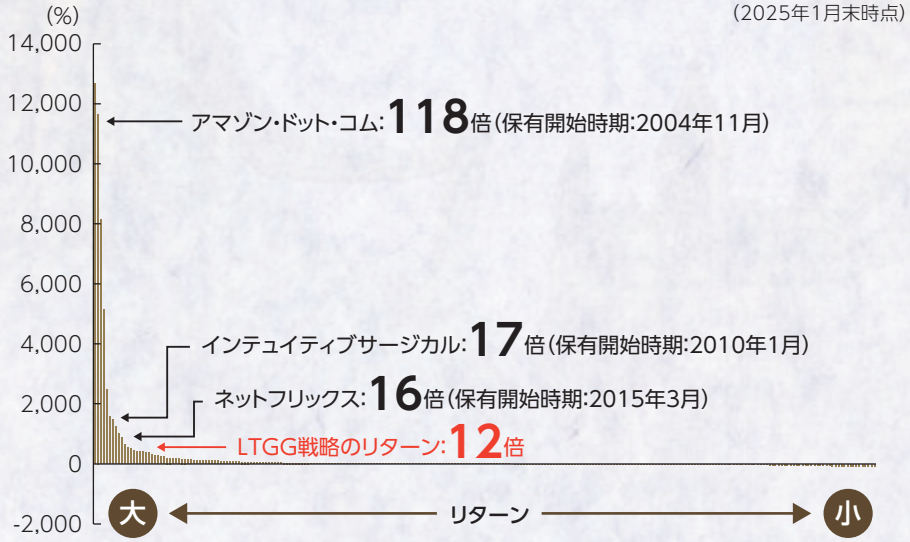
ベイリー・ギフォード社は、LTGG戦略において成長が期待される企業を早期に見出し、積極的に投資を行ってきました。
そして、それらを長期的に保有し続けることで大きな成長機会を捉え、大きなリターンの獲得をめざしてきました。

ベイリー・ギフォード社の成長企業への長期投資をご理解いただくために、代表的な運用戦略であるLTGG戦略のデータを用いています。LTGG戦略のコンポジットおよびLTGG戦略の代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

LTGG戦略における成長企業への長期投資

LTGG戦略における投資銘柄を見ると、一部の銘柄の大幅な上昇が戦略全体の良好なパフォーマンスに大きく寄与していたことがわかります。

【ご参考】LTGG戦略で投資を行った261銘柄のリターン

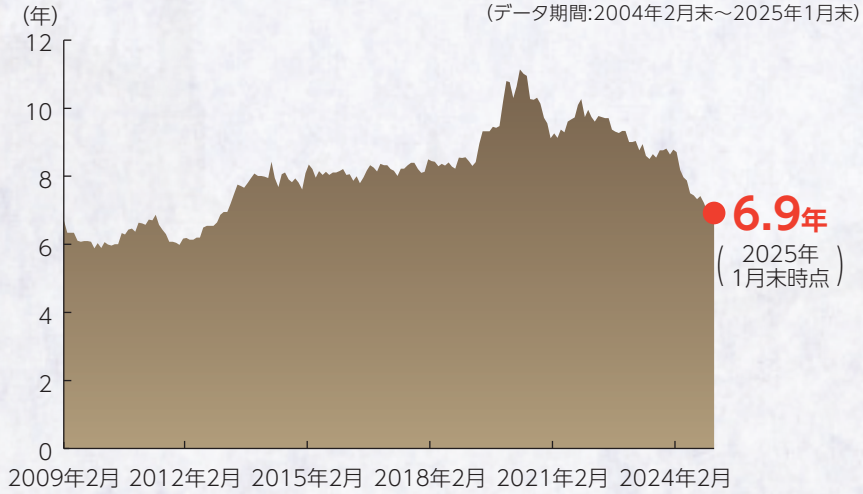


・銘柄数は売却済みを含んだこれまでの投資先数です。
・リターンは銘柄ごとの保有開始時から2025年1月末時点(売却した場合は売却時点)までを使用しています。
・リターンは配当込みで追加投資や一部売却の影響も加味しています。

ベイリー・ギフォード社が考えるリスク

ベイリー・ギフォード社は、短期的な見通しにより銘柄を売却し、その後の上昇機会を逃すことこそ大きなリスクと捉えています。そのため投資銘柄については、短期のダウンサイドリスクを許容しつつ、長期目線でリターンを獲得する姿勢を貫いています。

【ご参考】LTGG戦略における銘柄平均保有期間



(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・リターンは、LTGGコンポジット*(米ドルベース、配当金再投資)を構成するポートフォリオの保有期間リターンのデータを用いており、各銘柄の保有開始時期と銘柄平均保有期間は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。・銘柄平均保有期間はLTGG戦略の代表ファンドの5年平均の売買回転率から算出しています。売買回転率とは、株式売買額をポートフォリオの時価総額で除したものです。銘柄平均保有期間は、入手可能な2004年2月末以降のデータを使用しています。
*当該コンポジットには代表ファンドも含まれます。
・上記の銘柄はベイリー・ギフォード社の成長企業への長期投資をご理解いただくためLTGG戦略で投資を行った2025年1月末時点の組入上位10銘柄から保有期間が長期である3銘柄のリターンを紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。
上記は過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

【ご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

ベイリー・ギフォード社の受賞歴と運用・助言資産残高

主な受賞歴

過去には多数のアワードを受賞。
各外部機関からその運用力が評価されています。

The 2024 Morningstar Awards for Investing Excellence Belgium[*1]
-Morningstar Awards
グローバル株式
(基準日:2023年12月末)

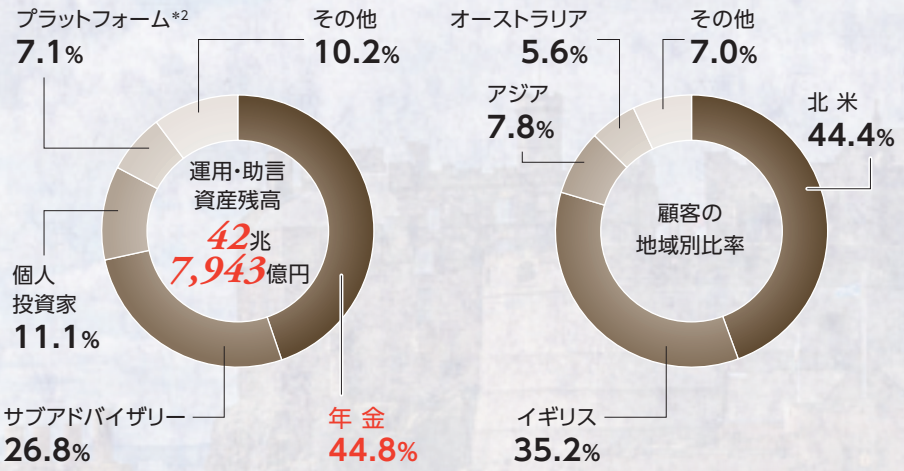
Mercer MPA Awards for outstanding performance 2023 Japan[*1]
-Mercer MPA Awards
外国株式部門(5年)
(基準日:2023年3月末)

UK Investor Magazine Awards 2023
-UK Investor Magazine
最優秀ファンドマネジャー賞
(基準日:2022年12月末)

*1 ベイリー・ギフォード社が運用するLTGG戦略に関連する賞です。
*2 様々な種類の投資信託等の金融商品を主にオンラインで販売する金融サービス業。

運用・助言資産残高

長期運用の投資哲学をもち、世界各国の年金等の資産運用・助言を行っています。



(2024年12月末時点)

カリフォルニア州職員退職年金基金(CalPERS)をはじめとした世界有数の年金の運用を受託。
運用・助言資産残高は**42兆7,943億円**にのぼります。

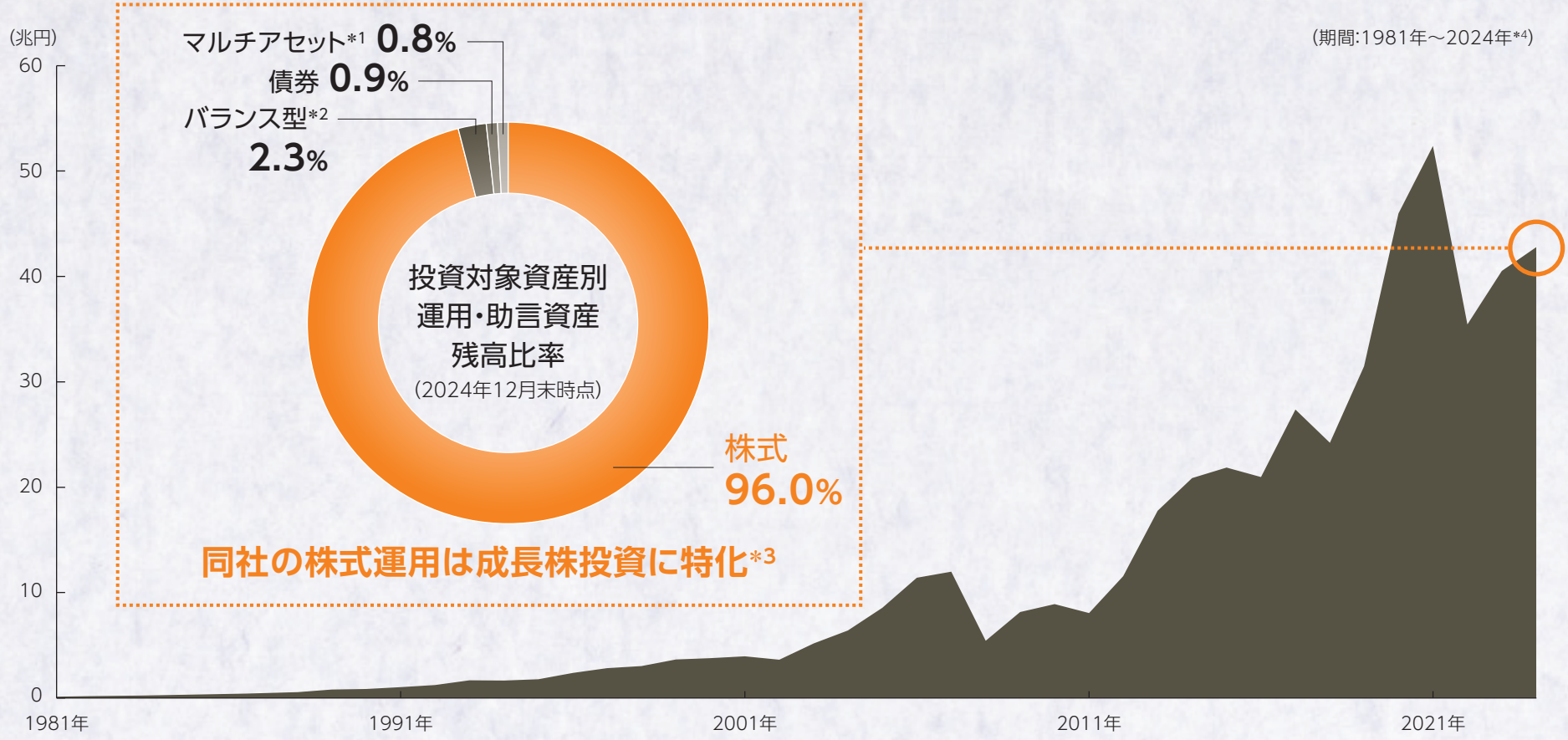
・上記はCalPERSによるベイリー・ギフォード社のサービスに対する肯定的あるいは否定的な見解を意味するものではありません。

(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・「主な受賞歴」は、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドに関するものではありません。また、当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

ベイリー・ギフォード社の運用・助言資産残高の推移

ベイリー・ギフォード社はこれまで、世界各国の年金等の運用を受託し、運用・助言資産残高を積み上げてきました。



*1. ベイリー・ギフォード社の専属チームが、伝統的資産やオルタナティブ資産等幅広い資産クラスに自由に投資しリターンを追求する一方、分散化によるリスク低減を目指すポートフォリオを指します。
*2. ベイリー・ギフォード社の各地域の株式や債券チームが構築した、株式、債券、キャッシュ等のバランスが取れたポートフォリオを指します。
*3. 将来変更する可能性があります。
*4. 2024年12月末時点

(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

ベイリー・ギフォード社における様々な情報ソースからの情報収集

ベイリー・ギフォード社は現地調査、経営陣との面談に加えて、大学や独立系の調査機関との連携を含めた様々な情報ソースから情報収集を行い、運用に役立てています。

ベイリー・ギフォード社の情報収集の例

人工知能（AI）
- ケンブリッジ大学リバーヒューム知性の未来センターとの提携
- AIの倫理と応用についての研究

ディープトランジション（社会技術システムの構造的変化）
- サセックス大学ビジネススクール科学政策リサーチユニットとの協働
- 構造的変化への社会的な対応とサステナビリティに関するリサーチ

ゲノミクス
- 遺伝子配列解明研究のスポンサーを務める

書籍展
- 著作活動のスポンサーを務める
- 一流の歴史学者、哲学者、科学者、芸術家、政策立案者、エンジニアから洞察を得る

実存的な変化
- サンタフェ研究所との提携
- 複雑性理論、イノベーション、経済の適応

リターンの構造
- アリゾナ州立大学との提携
- 株式市場のリターンの偏りと外れ値の特徴

探求心に溢れるリサーチ
- アフリカでのソーシャルネットワークの使われ方

脱炭素
- 上海交通大学中英低炭学院との提携
- 脱炭素化と他のグリーンテクノロジーへの対応

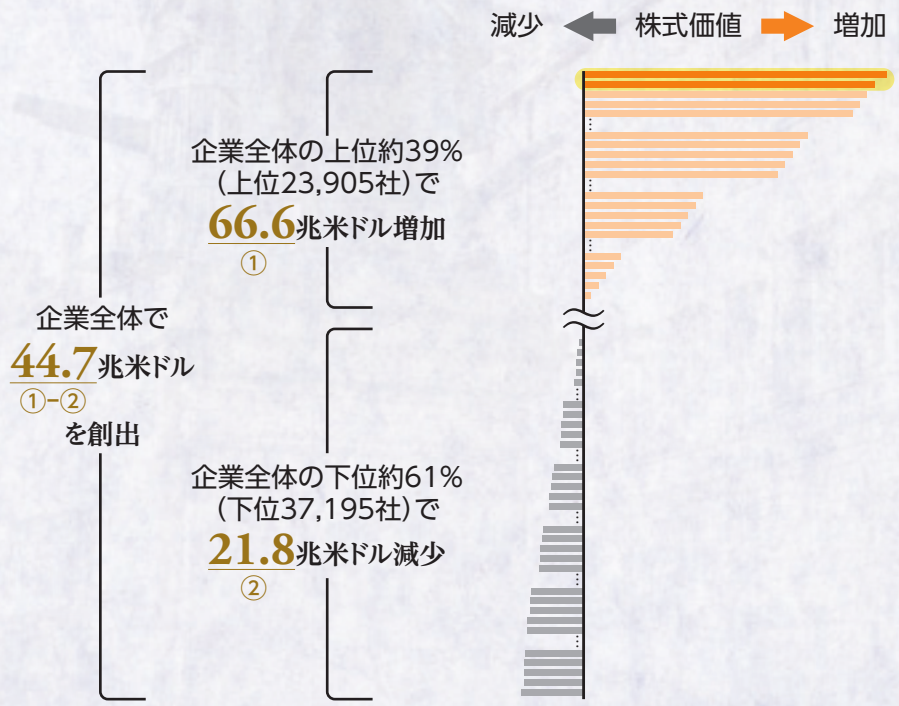
（出所）ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成

・上記は、全てを網羅するものではありません。

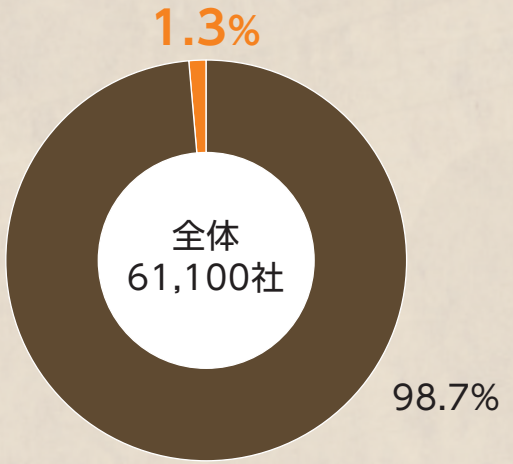
（ご参考）銘柄選定の重要性

1990年から2018年の期間、世界中で株式価値を増加させた企業数は全体の約39%にとどまります。また、世界中の企業が創出した株式価値の44.7兆米ドルは上位1.3%の企業によって創出された価値と同じでした。こうしたことから、長期で見ると株式投資における銘柄選定は極めて重要であると考えます。

株式価値の増減額と企業数



株式価値を増加させた上位811社(企業全体の約1.3%)で約**44.7**兆米ドルを創出。



・上記はイメージ図です。

(出所)Hendrik Bessembinder他著『Do Global Stocks Outperform US Treasury Bills？』(2019)を基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成
・株式価値とは、当該期間において、その銘柄に投資したことによる収益を表しています(当該期間中の配当再投資を含む株式リターン－米国の１ヵ月物の財務省証券のリターン)。

・上記は、過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

LTGG戦略の運用チームのご紹介

ベイリー・ギフォード社は、殆どの運用担当者をエディンバラに集約し、投資アイディア、見解の共有を効率的に行なう体制を構築しています。

その中で、LTGG戦略の運用チームは、少数精鋭のチームで、ファンドマネジャー、アナリストの別を問わず、投資アイディアの創出・調査・議論を活発に行い、独創性と想像力を発揮しています。また、ポートフォリオの構築にあたり、銘柄を選ぶ10のチェックポイントを用いています。

ベイリー・ギフォード社の運用の3つの特徴

1. 100年超の歴史を有するパートナーシップ制の独立系運用会社**外部株主からの短期的な要求がなく、**長期的視点で投資可能。
2. ボトムアップアプローチで銘柄選択、**ダウンサイドリスクよりもアップサイド**に注目して投資を実践。
3. 銘柄選定では、企業とのミーティングを重視。長期投資だからこそ**著名企業トップマネジメントとの面談機会**も有する。

LTGG戦略の意思決定者

Mark Urquhart

運用経験年数：29年
在籍年数：29年

John MacDougall

運用経験年数：25年
在籍年数：25年

Michael Pye

運用経験年数：12年
在籍年数：12年

Gemma Barkhuizen

運用経験年数：8年
在籍年数：8年

・上記の意思決定者の他に、運用チームには4名のアナリストが在籍。

(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成

・2025年1月末時点の運用チームです。将来変更される場合があります。

銘柄を選ぶ10のチェックポイント

（2025年1月末時点）

産業の魅力度

1 今後5年で売上が2倍になる余地があるか？

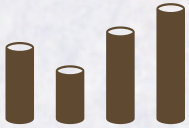
2 それ以降の見通しはどうか？

企業の競争力

3 競争優位な点は何か？

4 企業文化は他社と明確に差別化されているか？
事業環境の変化に順応可能か?

5 なぜ顧客はその企業を好むのか？
その企業の長期的な成長にとって最も重要な社会的要素は何か？



利益創出力の強さ

6 企業の稼ぐ力は魅力的か？

7 企業の稼ぐ力は向上するのか？それとも低下するのか？

経営陣の資質

8 どのように資本配分をしているのか？（設備投資、配当や撤退戦略等）

バリュエーション

9 株価が5倍以上になる可能性は？

10 なぜ市場は見過ごしているのか？

（出所）ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成

・上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記チェックポイントは、今後変更されることがあります。

投資対象ファンドの組入銘柄のご紹介

下記は、2025年1月末時点における投資対象ファンドの組入上位銘柄の中から、業種等を勘案してご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドにおいて下記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。保有開始時期は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。

アマゾン・ドット・コム

国・地域：アメリカ　業種：一般消費財・サービス

株 価（期間：2004年2月末～2025年1月末）

保有期間　20 Years

企業概要

オンライン小売会社で、多岐にわたる製品を販売しています。また世界各地でクラウドサービスである「アマゾンウェブサービス（AWS）」も提供しています。

投資のポイント

同社の製品やサービスが獲得可能な市場は、非常に大きく、拡大し続けているとみています。AWSは世界中で潜在的に価値があり、「アレクサ」を提供するAIスピーカーのプラットフォームも成長が見込める事業と考えています。

エヌビディア

国・地域：アメリカ　業種：情報技術

株 価（期間：2004年2月末～2025年1月末）

保有期間　8 Years

企業概要

3次元（3D）グラフィックスプロセッサーと関連ソフトウェアの設計・開発・販売を行っており、双方向3Dグラフィックスのプラットフォームも提供しています。

投資のポイント

同社はGPU（画像処理半導体）の市場で競争優位性があると考えています。また、データセンター、ゲーム、自動運転向けなど様々な種類の半導体チップを製造しており、魅力的な収益機会を持っているとみています。

クラウドフレア

国・地域：アメリカ　業種：情報技術

株 価（期間：2004年2月末～2025年1月末）

保有期間　4 Years

企業概要

ウェブサイトのパフォーマンスとセキュリティを向上させるためのクラウドベースのサービスや、サイバー攻撃に対しての防衛機能を提供しています。

投資のポイント

提供サービスを多様化してユーザー企業のサイバーセキュリティ支出の一本化ニーズに応えていくことで競争優位性は高まるとみています。さらに、データ移動の負荷を軽減するエッジコンピューティング*サービスは生成ＡＩ普及の恩恵を受けると考えています。

＊データ処理を利用者側の端末やその近くに設置するサーバーなどで行うネットワーク技術

（出所）Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料、各社HP等の情報を基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成

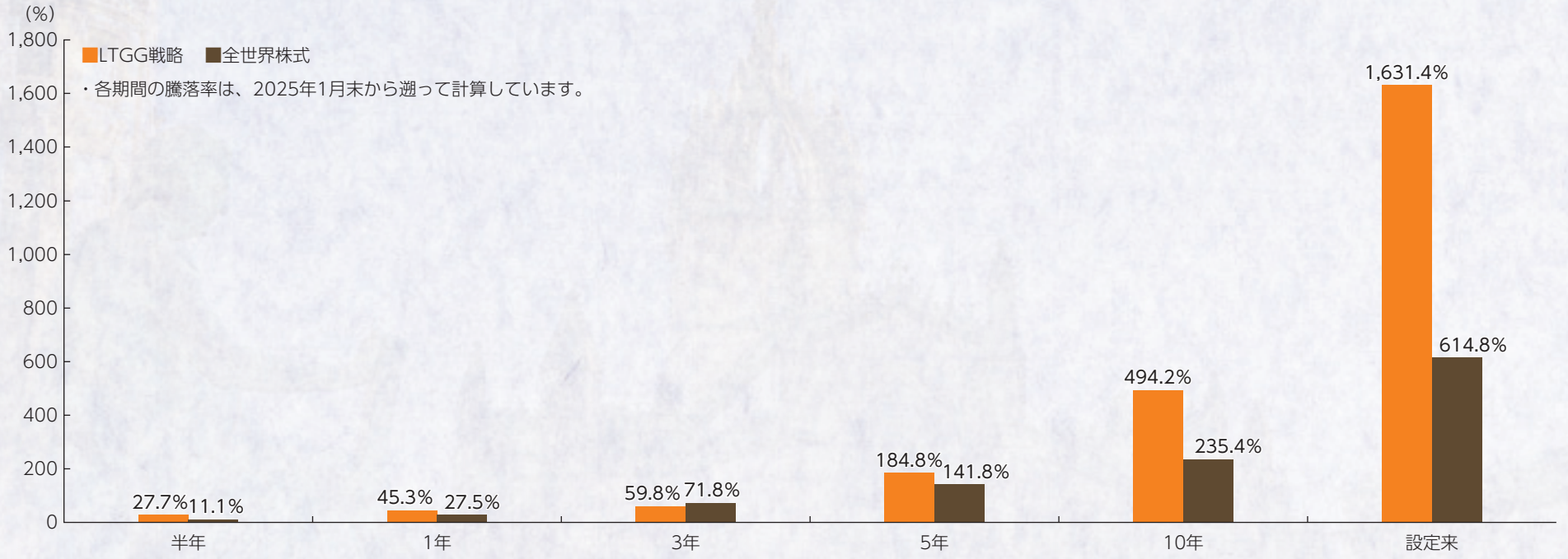
・グラフの横軸はLTGG戦略の運用開始2004年2月から表記していますが、運用開始後に株式公開をした場合、株式公開以降の株価推移を記載しています。 ・国・地域は、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの定義に基づいています。 ・業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターで分類しています。 ・保有期間は2025年1月末時点での保有期間年数を示しています（月単位切り捨て）。 ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

【ご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

（ご参考）LTGG戦略の期間別の騰落率

LTGG戦略の騰落率は以下の通りです。

（期間：2004年2月末（運用開始時）～2025年1月末）



（出所）Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成

上記は、長期の運用実績をお示しするため、LTGG戦略のコンポジットのデータを用いています。LTGG戦略のコンポジットは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

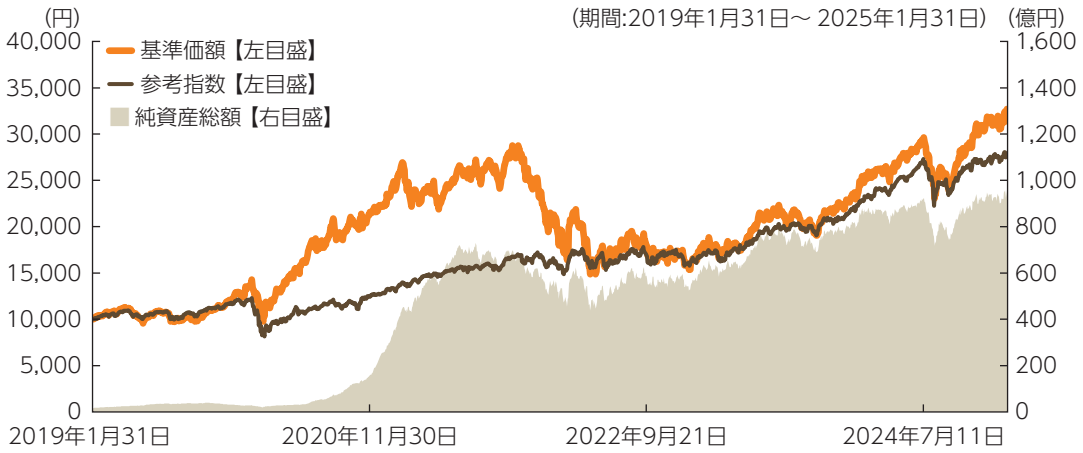
・上記では、代表的な指数の中で、LTGG戦略の投資対象の性質を表すのに、運用チームが相応と考える全世界株式と比較しています。 ・全世界株式は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（税引き後配当込み米ドルベース）をもとに委託会社が円換算したものです。 ・全世界株式は当ファンドのベンチマークではありません。 ・LTGG戦略のコンポジットは、運用報酬控除後、円ベース、配当および分配金再投資のパフォーマンスを表しています。 ・上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。 ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

当ファンドの運用実績（2025年1月末時点）

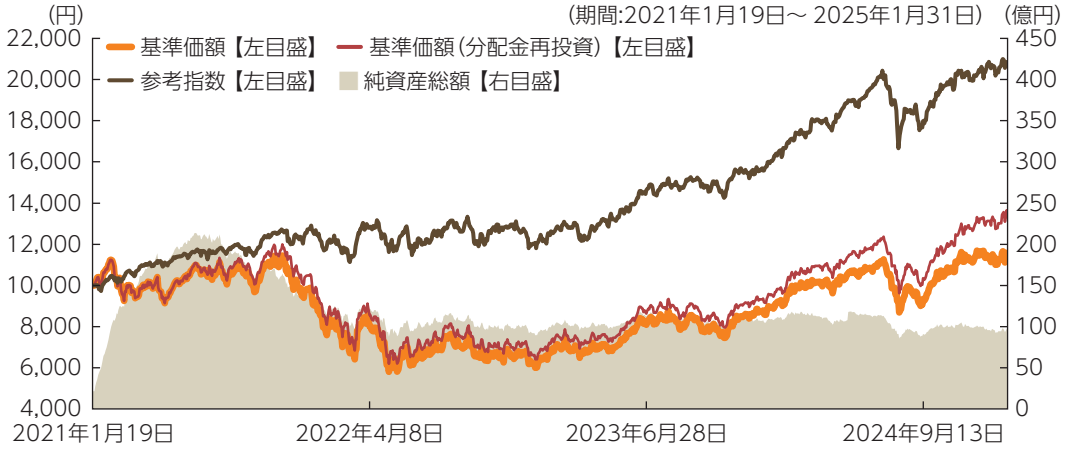
最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認いただけます。

基準価額および純資産総額の推移

ロイヤル・マイル



ロイヤル・マイル（予想分配金提示型）



分配金実績（１万口当たり、税引前）

ロイヤル・マイル

2025年1月	0円
2024年1月	0円
2023年1月	0円
2022年1月	0円
2021年1月	0円
2020年1月	0円
設定来累計	0円

ロイヤル・マイル（予想分配金提示型）

2025年1月	200円
2024年12月	200円
2024年11月	200円
2024年10月	100円
2024年9月	0円
2024年8月	0円
設定来累計	1,800円

資産構成

	ロイヤル・マイル	ロイヤル・マイル（予想分配金提示型）
投資信託証券	98.7%	98.5%
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション（円建）	98.7%	98.5%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%	0.0%
コールローン他	1.3%	1.5%

・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、1万口当たりで運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。 ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。 ・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。 ・参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。 ・参考指数は、設定日翌々営業日を10,000として指数化しています。 ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。 ・比率は純資産総額に対する割合です。 ・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。 ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

投資対象ファンドのポートフォリオデータ（2025年1月末時点）最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認いただけます。

当ファンドの投資対象ファンドである「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンド」のポートフォリオデータは下記の通りです。

運用資産構成

	比率
実質株式組入比率	96.8%
その他現金等	3.2%

組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	52.5%
2	中国	13.2%
3	オランダ	6.2%
4	ブラジル	4.9%
5	カナダ	3.8%
6	スウェーデン	3.6%
7	シンガポール	3.1%
8	韓国	2.6%
9	フランス	2.1%
10	ドイツ	1.7%

組入上位10業種

	業種	比率
1	情報技術	30.4%
2	一般消費財・サービス	27.9%
3	コミュニケーション・サービス	18.4%
4	ヘルスケア	9.2%
5	金融	5.2%
6	資本財・サービス	2.9%
7	生活必需品	2.6%
8	－	－
9	－	－
10	－	－

組入上位10銘柄

（組入銘柄数:40銘柄）

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	7.0%
2	クラウドフレア	アメリカ	情報技術	4.3%
3	エヌビディア	アメリカ	情報技術	4.2%
4	ネットフリックス	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.1%
5	ショッピファイ	カナダ	情報技術	3.8%
6	アトラシアン	アメリカ	情報技術	3.7%
7	ザ・トレードデスク	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.6%
8	スポティファイ・テクノロジー	スウェーデン	コミュニケーション・サービス	3.6%
9	メイトゥアン	中国	一般消費財・サービス	3.4%
10	インテュイティブサージカル	アメリカ	ヘルスケア	3.3%

（出所）Bloombergのデータ、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成

・運用資産構成のその他現金等は純資産総額－実質株式組入比率です。 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。 ・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。 ・国・地域は、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの定義に基づいています。 ・業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターで分類しています。 ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

当ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

1 長期の視点で成長が期待される世界各国の株式等に投資を行います。

■外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

※DR(預託証券)とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。

■投資にあたっては、国や地域、業種、時価総額に捉われずに、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行います。

運用プロセス

調査対象銘柄の絞り込み
・原則として、流動性を勘案し調査対象銘柄を抽出。

投資アイデアの発掘
・投資アイデアの発掘にあたり、現地調査や経営陣との面談に加えて、大学等の研究機関や独立系リサーチの調査機関等を活用するなど、様々な観点から情報収集を実施。

ポートフォリオの構築
・産業の魅力度、企業の競争力、財務基盤の強さ、経営陣の資質等について、それぞれ徹底した企業調査・分析を実施。また、バリュエーション(割安度)も考慮。
・運用チームで徹底した議論を行い、長期の視点で高い成長が期待される銘柄を厳選。
・成長シナリオの確信度に基づきウエイトを決定。

・上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際に投資対象ファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記プロセスは、今後変更されることがあります。

(出所)ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの情報に基づき三菱UFJアセットマネジメント作成

2 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドが行います。

■ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドは、英国の独立系運用会社であるベイリー・ギフォード＆カンパニーの100％子会社であり、英国外のお客様に対して資産運用・助言サービスを提供するための会社です。

3 原則として、為替ヘッジは行いません。

■原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

4 「ロイヤル・マイル」は、年１回の決算時（1月25日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。「ロイヤル・マイル（予想分配金提示型）」は、毎月の決算日（毎月25日（休業日の場合は翌営業日））の前営業日の基準価額に応じた分配を目指します。

ロイヤル・マイル

■分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

ロイヤル・マイル（予想分配金提示型）

■分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

■原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、以下に記載された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※基準価額が左記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。
※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
※基準価額の値上がりにより、分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える分配金テーブルに該当することによって資金が不足する場合等は、テーブル通りの分配ができないことがあります。
※左記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

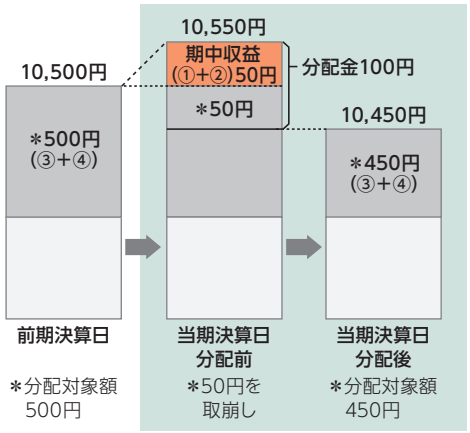
※右記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

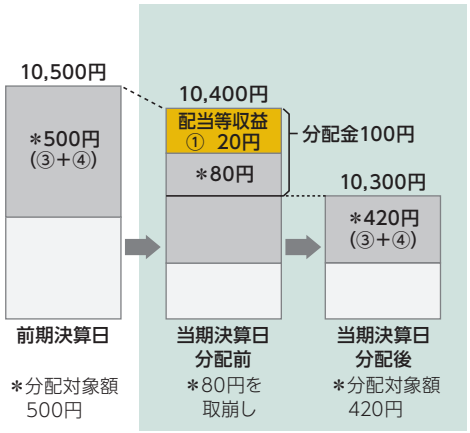
収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



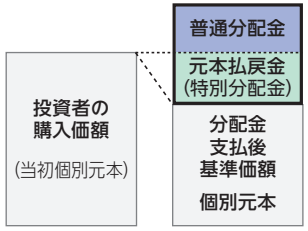
前期決算日から基準価額が下落した場合



●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

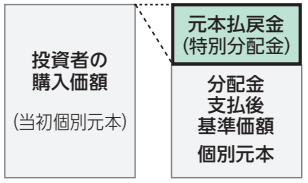
普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。
（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご参照ください。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



（ご参考）積立投資をした場合のシミュレーション

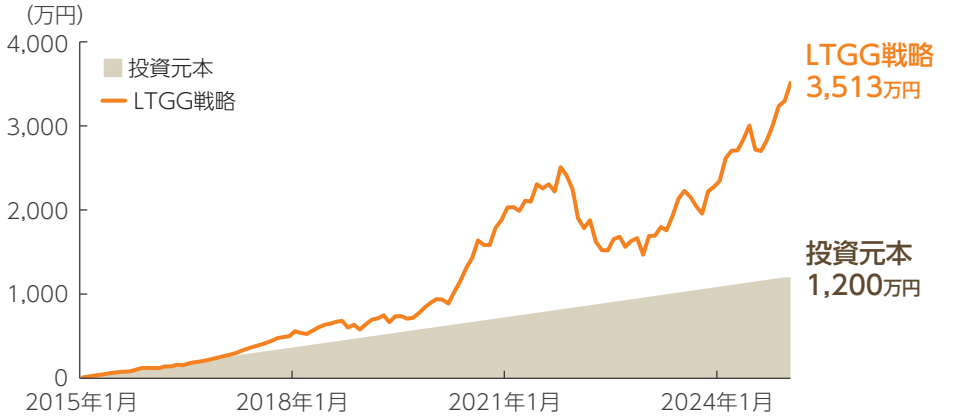
下記は、LTGG戦略コンポジット（運用報酬控除前）のパフォーマンスを使用しています。LTGG戦略コンポジットは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。下記のグラフ内におけるデータは、あくまで過去の値を用いたシミュレーションであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

LTGG戦略に積立投資を行った場合のシミュレーションは、投資元本を大きく上回りました。

▶毎月10万円ずつ積立投資した場合のLTGG戦略、投資元本の推移

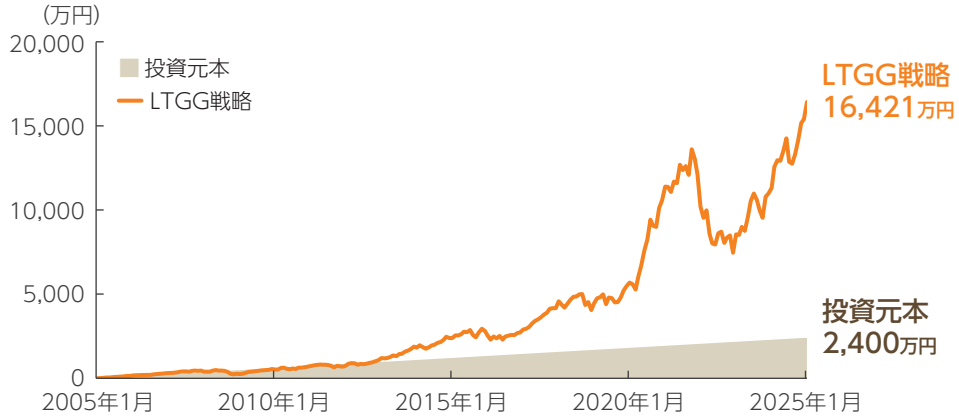
10年間

（期間：2015年1月末～2025年1月末）



20年間

（期間：2005年1月末～2025年1月末）



▶投資期間別・毎月の積立金額別のLTGG戦略の積立投資評価額と投資元本

毎月の積立額	5年間（期間：2020年1月末～2025年1月末）	10年間（期間：2015年1月末～2025年1月末）	20年間（期間：2005年1月末～2025年1月末）
1万円	98万円（投資元本 60万円）	351万円（投資元本 120万円）	1,642万円（投資元本 240万円）
5万円	490万円（投資元本 300万円）	1,756万円（投資元本 600万円）	8,211万円（投資元本 1,200万円）
10万円	980万円（投資元本 600万円）	3,513万円（投資元本 1,200万円）	16,421万円（投資元本 2,400万円）

（出所）ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッド、Bloombergのデータを基に三菱ＵＦＪアセットマネジメント作成

計算の前提

・LTGG戦略は、LTGG戦略コンポジット（運用報酬控除前、円ベース、配当および分配金再投資）から、「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド」の実質的な信託報酬率（年率1.6445%税込）を控除して算出。税金・購入時手数料等は控除無し。
・毎月末一定金額を一定期間積立投資（最終月末を除く）したと仮定しています。

・積立投資は運用状況によっては投資元本を割り込むケースがあります。 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**

したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。**

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に外貨建資産に投資を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。

信用リスク

株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。

流動性リスク

株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。

カントリー・リスク

ファンドは、新興国の株式に実質的な投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

■ リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行い、ファンド管理委員会およびリスク管理委員会においてそれらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を検討しています。
また、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策を策定し流動性リスクの評価と管理プロセスの検証などを行います。リスク管理委員会は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

＜投資対象ファンド（国内投資信託を除く）の信用リスク管理方法＞

投資対象ファンドの管理会社および投資運用会社は、投資対象ファンドにおいて、欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に定めるリスク管理方法に基づき信用リスクを管理します。

ご注意事項等

【本資料で使用している指数について】

全世界株式：MSCI オールカントリー・ワールド インデックス
MSCI オールカントリー・ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

【GICS（世界産業分類基準）について】

Global Industry Classification Standard(“GICS”)は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

【本資料および投資信託に関するご注意事項等】

- 本資料は、三菱ＵＦＪアセットマネジメントが作成した販売用資料です。投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。預金保険については三井住友銀行窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。
- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。

お申込みメモ

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

※三井住友銀行でお申込みの場合

購入時

購入単位
1万円以上1円単位
※投信自動積立の場合は1万円以上1千円単位、スイッチングの場合は1円以上1円単位

購入価額
購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
※基準価額は1万口当たりで表示されます。

換金時

換金単位
1円以上1円単位

換金価額
換金申込受付日の翌々営業日の基準価額

換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目にお支払いします。

申込について

申込不可日
次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。
・ニューヨーク証券取引所の休業日およびその前後の営業日
・ダブリンの銀行の休業日およびその前営業日

申込締切時間
原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
なお、販売会社によっては異なる場合があります。

換金制限
ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

購入・換金申込受付の中止および取消し
金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。

その他

信託期間
■ロイヤル・マイル
無期限(2019年1月31日設定)
■ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)
2039年1月25日まで(2021年1月19日設定)

繰上償還
各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。なお、ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。

決算日
■ロイヤル・マイル
毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)
■ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)
毎月25日(休業日の場合は翌営業日)

収益分配
■ロイヤル・マイル
年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。)
■ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)
毎月の決算時に分配を行います。
収益分配金の再投資が可能です。

課税関係
課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。
ロイヤル・マイルは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象です。
販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。
ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)は、NISAの対象ではありません。
税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

スイッチング
各ファンド間でスイッチングが可能です。

ファンドの費用

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

※三井住友銀行でお申込みの場合

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料

ご購入代金に応じて、下記の手数料率をご購入金額(ご購入価額(1口当たり)×ご購入口数)に乗じて得た額

購入代金	手数料率
1億円未満	3.30%（税抜 3.00%）
1億円以上5億円未満	1.65%（税抜 1.50%）
5億円以上10億円未満	0.825%(税抜 0.75%)
10億円以上	0.55%（税抜 0.50%）

※スイッチング手数料はかかりません。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
※別に定める場合はこの限りではありません。

換金時

信託財産留保額

ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用(信託報酬)

■ファンド
日々の純資産総額に対して、年率1.5895%(税抜 年率1.4450%)をかけた額

■投資対象とする投資信託証券
投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.055%以内(マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)

■実質的な負担
ファンドの純資産総額に対して年率1.6445%程度(税抜 年率1.5000%程度)
※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。

その他の費用・手数料

以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。
・監査法人に支払われるファンドの監査費用
・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等
・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。ロイヤル・マイルについては、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。ロイヤル・マイル(予想分配金提示型)については、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
※ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)
三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)
株式会社三井住友銀行 他
下記の三菱UFJアセットマネジメントの照会先でご確認いただけます。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 ●お客さま専用フリーダイヤル:0120-151034(受付時間／営業日の9:00 ～ 17:00) ●ホームページアドレス:https://www.am.mufg.jp/

三菱UFJアセットマネジメント